

ソウル日本文化センター

主な活動

アニメーション作家・山村浩二氏の
講演・上映会
日本語能力試験
日本のプロダクトデザイン展覧会
ソウル大学国際大学院に対する助成

日韓グラフィック・デザイナー交流展、浮世絵展や、山村浩二監督講演会、山本光洋・パントマイム公演など若者層向けの日本文化紹介イベント、日本映画上映会などの日韓交

流事業を展開。また、中等教育レベルの教師の日本語能力向上のための教師研修会を主催、各地の研究会に専門家を派遣しセミナー・講演などを実施しました。2005年1月には「日韓友情年2005」が開幕し、「現代日本のデザイン100選」展やロード・クラブ・フェスティバルを開催。「竹島問題」の影響が心配されましたが、合計で1万人以上の来場者があり日韓間の若者文化の競演となりました。



山村浩二氏による講演

北京日本文化センター

主な活動

日本名宝展 / 中国国家博物館
日本FANS2004 /
日本のポップス音楽紹介
貴州大学日本文化祭 /
日本語弁論大会など
東アジア文化講座特別講演

SARSによる混乱に悩まされた前年度と比べ、順調に事業を行なうことができた1年間と言えます。北京市の中国国家博物館で開催

した日本名宝展の入場者が34,000人を超え、日本語能力試験応募者が過去最大の約10万名を記録するなど、当国における日本への関心の高さが改めて感じられる年でした。年度後半に入った2005年は、終戦60周年でもあり、反日の動きも高まるなど、相反するエネルギーの強さも見せつけられました。事務所としては、広大な当国において、大都市のみに集中しがちな事業の地方展開を充実させるべく増員など体制の整備を始めました。



日本FANS2004

ジャカルタ日本文化センター

主な活動

4カ国親善国際囲碁大会
日本研究ワン・デー・セミナー
アカベラグループ「INSPI」コンサート
演劇集団「劇団風の子」公演
専門高校日本語教科書制作

2004年度のインドネシアは国会議員・地方議員総選挙やインドネシア史上初の正副大統領直接選挙など、政治的な変革が目立ちました。また、曾我ひとみさんとジェンキンス氏

のジャカルタでの対面やオーストラリア大使館の爆弾テロ、スマトラ沖地震と津波などで世界から注目された年でもあります。これらの事件は文化事業にも影響を与え、爆弾テロの脅威から大型の文化イベントを自粛、本センターの事業である高校生日本語弁論大会なども中止されました。こうした状況下で、アカベラグループ「INSPI」のコンサートや文化的国際貢献事業である「劇団風の子」の巡回公演を実現。東西ティモールの子供たちを癒す役目も果たし、大きな成果を残しました。



劇団「風の子」巡回公演

バンコク日本文化センター

主な活動

SOI Music Festival
津軽三味線とボーイ・タイ共演
日本映画祭2004
日本語講座テレビ放映
バンコク日本文化センター
設立30周年記念セミナー

2004事業年度のバンコク日本文化センターの事業重点方針に基づき、伝統と文化の調和した芸術交流や多様な分野での文化交流事業

を積極的に行ないました。また、2004年度は、シリキット王妃72歳慶祝年であると同時に、当センター事務所設置30周年でもあったため、これを記念する事業を実施しました。

日本語教育については、日本語学習者が約5.5万人（2003年度調査世界第8位）、2004年度の日本語能力試験受験者は約8千人（海外3位）を数えました。さらに、9期10カ年度で、163名の中等学校現職教員日本語教師養成研修の効果もあって、日本語学習者が飛躍的に増加する結果をもたらしました。



津軽三味線とボーイ・タイ共演